

平成21年度学校体育振興事業
「中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校」
研究報告書

ふりがな 学校名	たなべしりつおおとうちゆうがっこう 田辺市立大塔中学校
-------------	--------------------------------

校長名：中山 篤

所在地：和歌山県田辺市鮎川2588番地の2

電話番号：0739-48-0324

地域の指導者と保健体育担当教員が連携した指導の在り方に関する研究

I 研究実践校の概要

1 学校・地域の特色及び実態

本校は、全校生徒83名の小規模校である。生徒は、人懐っこく素直な生徒が多く、教師との人間関係も良好である。また、体を動かすことが好きな生徒が多く、体育授業にも積極的に参加できている。しかし、技能面においては巧緻性に優れた生徒とそうでない生徒の二極化が目立つ。

また、柔道の授業については、興味を持って取り組む生徒が多いが、受け身などに恐怖心を持ち、消極的な生徒もいる。

1 学校の概要（平成21年5月1日現在）

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
学級数	1	1	1	0	3	
生徒数	男	12	5	15	0	32
	女	14	21	16	0	51

教員数 10名（保健体育科 1名）

武道・ダンスの授業の状況

領域:武道 領域の内容:柔道

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
配当時間	16	16	16		48	
担当教員数 (外部指導者)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		3	
生徒数	男	12	5	15		32
	女	14	21	16		51

領域:ダンス 領域の内容:フォークダンス

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
配当時間	3	3	3		9	
担当教員数 (外部指導者)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		3	
生徒数	男	12	5	15		32
	女	14	21	16		51

II 研究の内容及び成果等

【研究成果の要点】

柔道の授業においては、各学年男女共習、前期（5月）8時間、後期（11月）8時間の合計16時間を専門技術を持つ外部指導者（女性）と本校の柔道部顧問と保健体育担当教員の3人体制で行った。単元計画の作成については、保健体育担当教員が中心になり、生徒の実態に沿って3名の相談のもと作成した。また、授業展開としては保健体育担当教員が主となり、外部指導者と柔道部顧問は、苦手な生徒の個別指導や、女子生徒の指導に当たった。

今回、3名で授業を行うことによって、生徒により細かく目が行き渡り、安全面・実技指導面ともに非常に大きな効果があったと感じる。特に外部指導者が女性であったため、女子生徒に対しては、「取り」や「受け」など技能習得が効率よく行うことができた。また、各個人の技能習得段階に応じて時間をかけて指導することにより、多くの生徒が意欲的に参加することができ、柔道に対して興味・関心を持つようになった。

1 研究主題等

(1) 研究主題

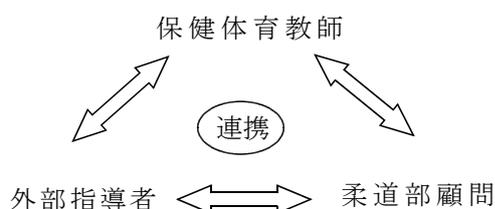
地域の指導者と体育担当教員が連携した指導の在り方に関する研究。

(2) 研究主題設定のねらい

本校には、学校に隣接した武道館があることから以前から柔道の授業を行ってきたが、ここ最近の生徒は、興味を持って柔道に取り

組む生徒が多いが、受け身などの恐怖心から消極的になり、逆に事故を招きかねない生徒もいる。そこで、専門技術を持つ指導者を含め指導者の数を増やすことによって、生徒の安全に注意しながら、柔道をより積極的に行うことで、上記主題に迫れるものとする。

(3) 取組体制



(4) 主な取組

平成21年度	<p>◎実施時期 各学年、5月・11月の前期後期に分けて1学年につき16時間実施する。(合計48時間)</p> <p>◎目的 我が国固有の文化にふれ、伝統的な行動の仕方を守ることなど、柔道をより安全で積極的に取り組む態度や能力を育成する。</p> <p>◎内容 地域の専門的技術を持つ外部指導者と保健体育担当教員と柔道部顧問の3名によるTTでの授業を行う。</p> <p>◎確認事項 授業展開を行うのは保健体育担当教員であり、外部指導者・柔道部顧問には、苦手な生徒に対する手立ての支援等を行う。</p>
--------	---

2 研究内容及び具体的な研究活動

(1) 具体的な研究課題

外部指導者・柔道部顧問と保健体育教師の3名によるTTでの授業を行うことによって、50分の授業をどれだけ有効に展開する事ができるか。

(2) 取組

各学年、前期・後期に分け3名によるTTでの授業を1学年につき16時間、合計48時間行う。

(3) 成果・課題

成果について、1点目は、授業での実技指導など技について、細かな指導を3人で事前に話し合うことにより授業を円滑に行うことができたことである。

2点目は、3名で授業を行うことで、より多くの生徒に対して細かなアドバイスを与えることができ、生徒にとっては意欲的に参加することのきっかけにもなったことである。

3点目は、外部指導者の方が女性であったので、女子生徒に十分指導できたことである。

課題としては、今後、身体接触のある柔道の授業を、男女共習の授業のなかで、どのように展開していくかということである。今回は、外部指導者が女性であったため、女子生徒に対して、より実践的な指導をする事ができたが、どのように実技指導をしていくかが課題となると考える。そのため、指導者は、柔道に対する知識・理解をさらに深め、男女に合わせた指導計画を立てておく必要があると考える。

また、今年度は、大きなケガもなく無事に終了する事ができたが、単元計画の段階から、生徒の能力、本校の施設状況にあった授業を考え、生徒の安全面を十分配慮した指導計画を立ておくことも必要であると考えている。

3 研究成果の普及

本年度は、初任者研修の公開授業として他の先生方に参観していただき、本校の取り組みを他校へ広めることができた。今後はそれらをもとに、より充実した授業改善を図りたい。

4 今後の展望

今回の研究を踏まえ、指導者が積極的に各研究会等に参加し、柔道に対する知識・技能を身につけることが大切であると感じた。

また、我が国固有の文化である武道を通して、礼を重んじ相手を思いやる心の育成について追究するとともに、「礼儀」や「思いやり」については、道徳の授業とも関連を図りたい。

保健体育科年間指導計画

大塔中学校

月	第1学年			第2学年			第3学年														
	領域	時間	単元及び内容	領域	時間	単元及び内容	領域	時間	単元及び内容												
4	体 つ く り	3	体づくり運動 集団行動 各種の体操	体 つ く り	3	体づくり運動 集団行動 各種の体操	体 つ く り	3	体づくり運動 集団行動 各種の体操												
										器械運動 ・ 武 道 ・ 球 技	8	器械運動 マット 武道（柔道） ③2(1) 着方 礼法 受け身	器械運動 ・ 武 道 ・ 球 技	8	器械運動 マット 武道（柔道） ③2(1) 受け身 固め技 立ち技(支え技系・刈 り技系・まわし技系)	器械運動 ・ 武 道 ・ 球 技	7	器械運動 マット 武道（柔道） ③2(1) 受け身 固め技 立ち技(支え技系・刈 り技系・まわし技系)			
												9			バレーボール パス サービス ルール ミニゲーム			8	バレーボール パス トス スパイク ブロック ルール ゲーム	8	バレーボール サービス レシーブ ルール ゲーム 審判法
															5				水泳 呼吸・けのび 姿勢 クロール 平泳ぎ・背泳		5
9	陸 上 競 技 ・ ダ ン ス	15	陸上競技 短距離走 リレー 走り幅跳び 走り高跳び ダンス（フォークダンス）	陸 上 競 技 ・ ダ ン ス	14	陸上競技 中・短距離走 リレー 走り幅跳び 走り高跳び ダンス（フォークダンス）	陸 上 競 技 ・ ダ ン ス	15	陸上競技 中・短距離走 障害走 走り幅跳び 走り高跳び ダンス（フォークダンス）												
			10			保健 (5)			保健 (6)	保健 (7)											

